

バースセンターでの出産

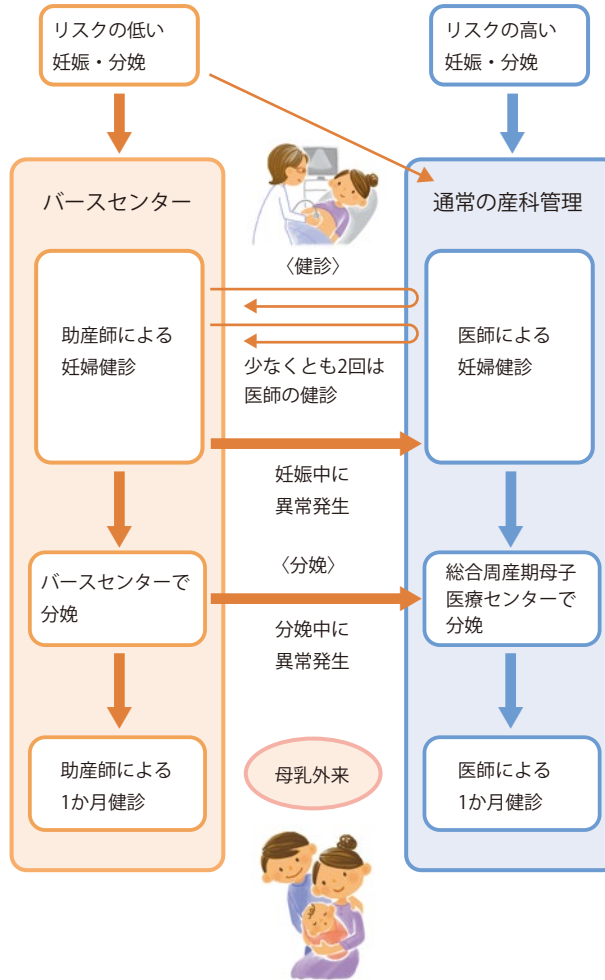


バースセンターとは



筑波大学附属病院では、つくば市との連携のもと、地域の妊産婦の皆さんが主体的に妊娠・出産、そして育児に臨めるように、助産師が中心となってサポートする院内助産システム「つくば市バースセンター」による出産の受け入れを始めました。合併症がなく、妊娠・出産に対するリスク(危険性)が低い妊産婦さんを対象に、助産師が妊娠期から産褥期に継続的に関わることで、満足を提供します。もちろん、リスクが低い方でもお産そのものの危険があるため、出産には必ず産科医師が立ち会うことで、安全を提供します。

この院内助産システムについて、詳しくは医師・助産師にお尋ねください。



安心・安全と快適性を備えた施設

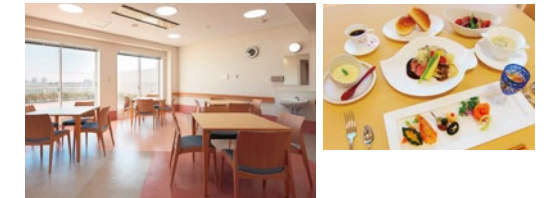
病室

病室は、個室、個室的多床室(4床室)、4床室があります。個室には、各室トイレとシャワーを完備しており、4床室も部屋ごとに専用のトイレが設置されています。プライバシーに配慮した空間となっています。



デイルーム

病室と同フロアにあるデイルームは、妊婦さん同士の交流の場となっています。出産後はねぎらい膳を提供いたします。



院内に併設された

総合周産期母子医療センター

NICU (新生児集中治療室)

GCU (新生児回復治療室)

新生児専任の小児科医、小児外科医と看護師がチームを組み、小さく生まれたり、手術が必要あるいは先天的な病気を持つ赤ちゃんたちを24時間体制で治療します。

MFICU (母体胎児集中治療室)

ハイリスク母体・胎児に対応できるよう最新の医療機器を備え、24時間質の高い医療を提供できる環境を備えています。

